

※※※ 競技上の注意 ※※※

1 開会式次第

- (1) 開会宣言
- (2) 優勝旗・優勝杯返還
- (3) 競技部会長あいさつ
- (4) 競技・審判上の注意
- (5) 会場使用上の注意
- (6) 選手宣誓

2 閉会式次第

- (1) 成績発表並びに表彰
- (2) 競技部会長あいさつ
- (3) 閉会宣言

※) 開閉会式は集合・整列をせず、観客席に座ったままで行う。役割のある代表生徒のみフロアに降りることができる。

3 大会日程

- (1) 第1日 団体戦全試合・個人戦ダブルスベスト4まで
- (2) 第2日 個人戦ダブルス・シングルの残り全試合

※開会前の練習は、8:20より備前東・クラブ⇒備前西⇒備南東⇒美作・備南西の順で7分間。

4 競技上の注意

- (1) ポイント…全試合、6オールから21点3ゲーム(2点連取あり)

※サイドコーチについて※

- 団体戦の準々決勝から監督及びコーチ2名までが、ゲーム間120秒以内のサイドコーチできる。それまでは、コートサイドで試合の応援はできるが、ゲーム間のサイドコーチは認めない。
- 個人戦の準々決勝から監督及びコーチ2名までが、ゲーム間120秒以内のサイドコーチできる。
- ※マッチにふさわしい服装で行うこと。七分丈のズボンは認めない。(全試合)

- (2) 団体戦は2点先取で打ち切る。試合順序は複①→単→複②で行う。オーダー用紙を速やかに提出すること。進行上、複・単同時に行うことがあるので注意すること。
- (3) 審判は、初戦は本部で指定する。
以後の試合は、団体戦は敗者チームで全て行う。(主審・線審・得点表示係)
個人戦は敗者…主審・得点表示係、勝者…線審
(試合終了後直ちに主審からスコアシートを受け取り、本部に報告。本部で次の試合のスコアシートを受け取り、敗者に渡すこと。運営をスムーズに行うこと。)
- (4) 審判は公正かつ厳粛に審判をすること。試合前の練習はさせず、選手を確認し、直ちに試合を始めること。
- (5) 団体戦では、団体メンバーのみコートのエンド(またはサイド)で応援すること。
- (6) 水分補給は、主審の許可を得て行うこと。ただし、蓋付きボトルを使用すること。
- (7) 氷のうを使用する場合は、やわらかいクーラーバッグに入れ、水滴を落とさないこと。
- (8) コート付近でのうちわとハンドファンの使用を控えること。

5 その他

- (1) 今大会は有観客となります。
- (2) 応援のみの選手の入場はお控えください。また、個人戦シングルスで1名のみの参加の際は、ヒッティングパートナーや審判の手伝いとしての選手1名の入場を認めます。
- (3) 上下の履き物の区別をつけ、体育館を傷つけたり、壊したりしないこと。
- (4) 選手はフロアに入る際は下足を必ずシューズ袋に入れ個人で管理すること。
- (5) ジュース、菓子類の飲食は厳禁する。
- (6) 選手、応援者とも最善のマナーに徹すること。
- (7) 選手は背面に規定のゼッケンをつけること。また、色付き着衣を使用する場合は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とする。
- (8) 貴重品の管理は各学校で責任を持っておこなうこと。
- (9) 声を出しての応援は可能だが、鳴り物を使つての応援は禁止する。